

Junior

Essay

アレックスユ

Alex Yu

ありがとう 黒と白の世界のガイドたち

私の人生には現実の世界だけじゃなくて、特別な世界もあります。勉強しすぎて疲れた時、落ち込んだ時、その世界に行ったら、嬉しくなります。そこはチェスボードの上、黒と白の世界です。チェスはいつも私をたすけてくれるものです。

父はその世界の最初のガイドです。六歳の誕生日に、父にチェスボードを買ってもらいました。それから、その黒と白の世界へのドアが開きました。その小さいボードの上には魔法があるみたいで、私がすぐに興味を持って、ほかのおもちゃを捨てて、父にチェスの遊び方を質問しました。基本的な遊び方を習って、父とチェスをしました。でも、もちろん私が全然勝てなかったです。

もっと強くなりたくて、私が小学のチェスチームに入っておかなければいけなくて、そこで二番目のガイドに会いました。Xushin 先生は私の最初の先生で、たくさんオープニングの理論と戦術を使う方法を教えてくれました。そして、私は市内の試合に参加しました。その時、私は若すぎるし、経験も全然ないし、七回の試合で一回しか勝たなくて、チェスを諦めると思いました。先生はそばにいて、励ましをくれて、私に自信を取り戻させました。

今私はマスターのタイトルを取るために頑張っていて、未来は先生になりたいです。その黒と白の世界はもう私の人生の一部になりました。だから、その世界を案内してくれたガイドたちに「ありがとう」を言いたいです。